

吉田町町制施行60周年

広報

よしだ

6

平成21年
2009/June

No.599



どろんこ遊び（5月24日）

特集

町制施行60周年記念

吉田町—激動の昭和史—

まちびと クローズアップ

Vol. 36

静岡県立高岡高等学校 体操部 *gymnastics club*

【写真】左から廣川光さん、良知えり菜さん、曾根多沙さん、中野里奈さん、乾浩二先生

吉田高校体操部は、県高校総体の体操競技女子団体で25年ぶり（優勝回数は昭和58年・59年の2回）の優勝を飾り、見事全国高校総体への切符を入れました。体操部監督の乾浩二先生は、「今年は、派手さはありませんが優勝を狙えるチームでした。昨年の準優勝から選手のモチベーションを上げ、今持っている自分の力を安定的に演技できるようしたことが勝因でした。選手たちは、それを理解し、よくがんばってくれました。」と選手をたたえていました。

女子の体操部員は、4人、全員レギュラーでけがは絶対にあつてはならない状況。その中の練習は、緊張感が漂い、一人一人が黙々と時間が短いながらも密度の濃いトレーニングに励んでいました。また練習後は、よく話し合いをしているという選手たち。話し合いの中で選手同士が信頼を深めたことも優勝した一つの要因ではないかと感じました。



高校から体操を始めた廣川さん（神戸在住）。監督の乾先生は、「はじめのころにできたのは、逆上がり程度。指導してきて3年間でこんなに上達した子は初めて。」と廣川さんの絶え間ない努力をたたえていました。

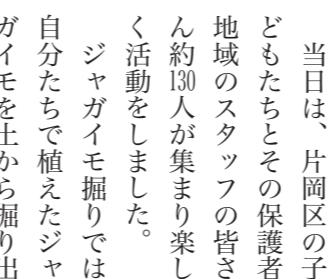
4人の選手に話を聞くと、エースの良知さんは、「3年生最後の大会。悔いのないように精いっぱいやるだけです。」と話し、同じく3年生の曾根さんは、「全国では、演技の動きを大きく見せるように全力で臨みたい。また、1年生の中野さんは「最後の大会となる3年生のためにもがんばりたい。」と話していました。後に主将の廣川さんは、「入学してから全国を目標にしてきたので本当にうれしいです。自分たちの力を出し切つて予選通過の16校の中に入るこれが目標です。」と大舞台での意気込みを話してくれました。

なお、今後は、6月20日に三重県で高校総体東海大会が行われ、全国高校総体は、7月28日から奈良県で始まり、体操競技は、7月31日に和歌山県で開催されます。吉田高校体操部の健闘を祈ります。

快挙!! 25年ぶりに県高校総体を制覇



夢中でジャガイモを収穫する子どもたち



ジャガイモの収穫を楽しむ皆さん

ジャガイモを配るスタッフの皆さん
そこにはたくさんの笑顔が溢れています

出来たてのジャガイモをほお張る子どもたち

5月24日、片岡区地域教育推進協議会「片岡きらめき塾」（浅井禎衛会長）は、町立図書館周辺の田畠でジャガイモ掘りとどろんこ遊びを行いました。

これは、教育委員会が推進する「子どもをはぐくむ地域教育推進事業」の一環で、「地域の子どもは地域で育てる」をモットーに、町内で地区別に地域の皆さんが中心となつて実施している事業です。

当日は、片岡区の子どもたちとその保護者、地域のスタッフの皆さん約130人が集まり楽し

く活動をしました。

ジャガイモ掘りでは、自分たちで植えたジャ

ガイモを土から掘り出

し、大喜びで収穫していました。

また、どろんこ遊びでは、はじめ「ヌルヌルして気持ち悪い」と恐る恐る田んぼを歩いていましたが、慣れてくるとバレーボールや追いかっこなど泥まみれになつて歓声を上げながら遊んでいました。最後は、スタッフの皆さんが収穫したばかりのゆでたジャガイモを全員に振舞い、子どもたちは「おいしい！」とほお張っていました。

今後片岡きらめき塾は、竹とんぼ作りや夏祭り、通学合宿などさまざまな事業を実施していく予定です。

地域ではぐくむ

「片岡きらめき塾」がジャガイモ掘りとどろんこ遊び

6月
の
ナイズ
ショット!



泥まみれでバレーを楽しむ子どもたち

C O N T E N T S

6

平成21年
2009/June

No.599

yoshida

表紙スケッチ 6月のナイズショット	02
吉田産の笑顔に逢いたい！ まちびとクローズアップ	03
町長からのメッセージ	04~05
特集 吉田町一激動の昭和史ー	06~09
富士山静岡空港がついに開港！！	10~11
まちのわだい	12~13
わがまち“お知らせ”あ・ら・か・る・と	14~17
保健だより ほか	18~19
としかんだより	20
入札結果・広報はいだん ほか	21
まちかどダイアリー	22



町長からのメッセージ

町のみなさん、お元気ですか。

79 明日のまちづくり

②

高齢者の健康づくりと足の確保について

高齢化がこのまま進行するとこの先一体何が起きるのか。平成17年の国勢調査の詳しい分析によつて、興味ある予測が明らかになりました。まず、町民の平均年齢が県下39市町のうちで7位の位置にある若い吉田町といえども、今から26年後の平成47年には人口に占める高齢者の割合が30・9%と3割を超えること、次いで、現在は高齢者の総数に占める割合は前期高齢者が後期高齢者を上回つているが、今からわずか6年後の平成27年にはこれが逆転し、後期高齢者が前期高齢者を上回ることの2点です。

この予測が示唆することは、①町の運営は高齢者の参加がなければ成り立たないこと、②高齢者の健康づくりの環境整備にこれまで以上に努める必要があるものの、とりわけ75歳以上の後期高齢者に対する移動手段である足の確保がネックになる可能性があることです。言い換えれば、『持続する福祉社会の建設』の指針の一つである『健康を維持しやすく、社会に参加しやすい環境づくり』は、車の運転がおぼつかなくなる後期高齢者の皆さんには絵に描いた餅になつてしまふ恐れがあります。『健康で元気な高齢者が生き生きと楽しく生きがいをもつて日々を過ごすことができるまちづくり』が急務となつてきました。これまでにはパーク・パークで個別的に対応してきましたが、これからは高齢者の健康づくりを一体的に政策化し、組織的に関連付けて事業化しなければ大きな成功は望めません。

ごせる部屋を作つてくれませんかねえ。もつと小さな子どもを持つた友達がスポーツをやりたいといつてい

るんですが、託児室のようなものがあれば、交代でベビーシッターをやつてスポーツを楽しめるんだけどなあ。考えてくださいよ、お願ひします。

若いパパやママにしてみれば、「スポーツを楽しみたいが子どものことを考えると躊躇してしまうので、スポーツをしている間、子どもを預けることのできる託児室があればそこに子どもを預け、スポーツを楽しむのだが、どうにかならないかな」ということなのです。若いパパ・ママのネックは、スポーツをしている間の安心できる子どもの面倒見だつたのです。

翌年、若いパパ・ママの要望に応えて総合体育館に託児室を設けました。誰かがベビーシッターになつて子どもを預かり、テレビが置かれた託児室で子どもたちはテレビ番組を見たり、テレビゲームをしたりして時間を過ごし、若いパパ・ママはその間は友達と一緒にスポーツを楽しめます。

しかししながら、高齢者向けに一番適したスポーツに位置付けられるグランド・ゴルフの爱好者が二つのグループに分かれつづらが見て取れます。移動手段の有無です。高齢者の車の運転についても、世間の

んで自分の時間を満喫できるようになつたのではないでしようか。

グラウンド・ゴルフ大会

高齢者に最も人気のあるスポーツは、グラウンド・ゴルフと言つても間違つてはいなでしよう。ゴルフバッグを背負つたり、自転車の荷かごに入れたり、あるいは仲間と軽自動車に積みこんだり、それぞれ高齢者の方々がいそいとグラウンド・ゴルフ場に向かう光景をよく目にします。

私もグラウンド・ゴルフが好きです。この仕事についてから、ほとんど時間が取れなくてなかなかやる機会がありませんが、たまにやつてホールインワンをやつた時など心が弾みます。

大会があれば、大勢の方が参加されますが、グラウンド・ゴルフが純粹に一人一人の得点争いという競技の性格から仲間げんかにならずに楽しめる競技であることに加えて、大勢が参加する井戸端会議の役割果たして情報交換の場にもなつていてることが高齢者を引きつけるゆえんでしょう。

しかしながら、高齢者向けに一番適したスポーツに位置付けられるグランド・ゴルフの爱好者が二つのグループに分かれつづらが見て取れます。移動手段の有無です。高

目が厳しくなつてきました。老化が進めば、運動感覚も鈍つてきます。いつまでも車を運転できるものではありませんから、いつかは運転免許証を返納しなければならない日がやってきます。その日から移動手段の足が失われてしまいます。

75歳以上の後期高齢者がこれから年をおつてどんどん増えるということとは、別な見方をすれば、移動手段の足が確保できない人々が増えると足が失われてしまいます。75歳以上の後期高齢者がこれから年をおつてどんどん増えること法がありましたが、毎度のこととなると遠慮も出て頼みづらくなつてきます。そしていつしか、家に引きこもるようになつてしまい、世間との交わりがなくなつて身体ばかり心同乗させてもらうようにならざります。

「町の運営は高齢者の参加がなければ成り立たないこと」は誰が見てれば成り立たないこと」は誰もが一目瞭然です。そうです、誰もが参加することで町の運営が成り立つ『全員野球』の時代が来たのです。

全員野球の町の運営とは、町民の皆さま一人一人が共に手を取り合つて町を創り、町の運営に手を貸す運営の方法ではないのでしょうか。

若いいからお年寄りまで誰でも提供できるものをもつていています。お金、時間、技術、いろいろなものが浮かびます。吉田町人材バンク構想のプロジェクトを立ち上げます。そのキヤツチコピーハーは、『健康で元気な高齢者が生き生きと楽しく生きがいをもつて日々を過ごすことのできる吉田町』でいかがでしようか。

ふれあいカップ・バレー・ボール大会

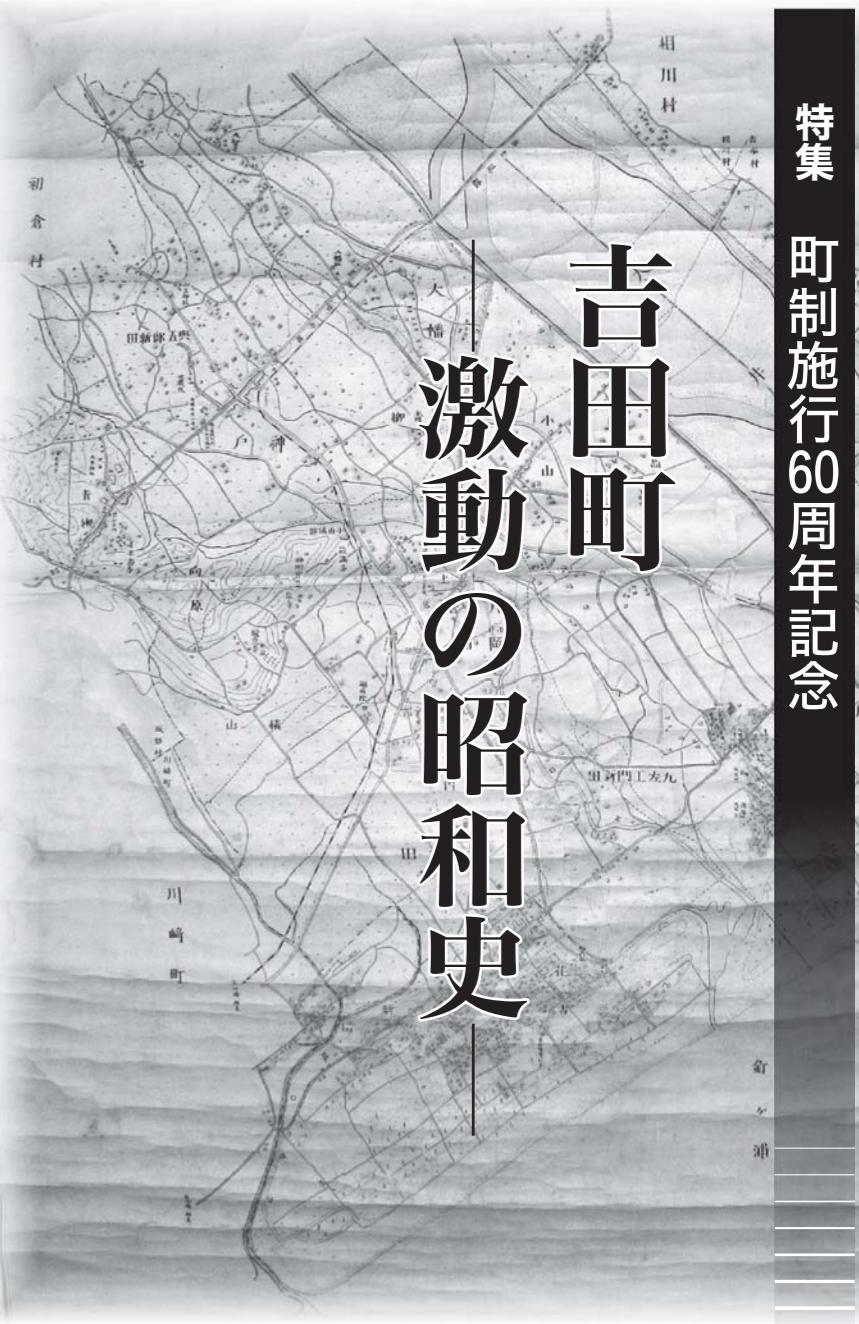
5月24日、総合体育館で第20回吉田町ふれあいカップ・バレー・ボール大会が開催されました。私はお招きを受け、開会式で挨拶をさせていただきましたが、会場は若いパパやママと並んで小さな子どもたちが大勢目につきました。この大会の代表者の方との話から、若いパパ・ママの考え方の一端が分かつたような気がしました。

その方の話では、以前は結婚した女性がスポーツの世界にもどるのは子育てを終えてからだったそうですが、今では子育てをしながらスポーツにいそむく傾向が顕著になつたとのことでした。子育てを終えてから帰ろうとしたところ、数人のパパ・ママが『町長！ちょっと待つて。』と声を掛けてきました。

『町長、お願いがあるんです。私たちがバレー・ボールをしている間、小さな子どもたちが安心して時間を過ごさないといけないから』と、声を掛けてきました。『町長！ちょっと待つて。』と声を掛けました。『町長、お願いがあるんです。私たちがバレー・ボールをしている間、小さな子どもたちが安心して時間を過ごさないといけないから』と、声を掛けました。



吉田町 激動の昭和史



明治22年3月、町村制施行で第六組合から吉田村となり、60年後の昭和24年7月に新制「吉田町」が誕生しました。以来時を経て平成21年7月1日をもって町制施行60周年（村から町へ120周年）の節目の年を迎えます。吉田町が歩んできた歴史を振り返り、先人たちの業績に感謝するとともに、未来に向けて吉田町をさらに飛躍させていきたいと願っています。

昭和24年町制施行 「吉田町」が誕生

大吉田町生まれ 喜びに躍る地元民

昭和24年7月10日



▶町制を祝い多くの人たちでにぎわう住吉神社前



▶町制を祝うパレード



▲昭和27年町内初の保育園開園（さくら保育園）



▲昭和33年全長980mの木造橋、太平橋が架橋

◀昭和34年の片岡辻交差点



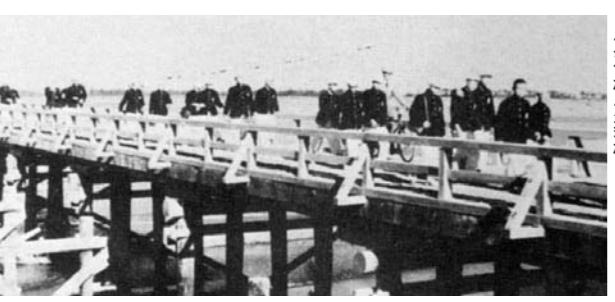
▲昭和33年全長980mの木造橋、太平橋が架橋



◀昭和34年の片岡辻交差点



▲昭和27年町内初の保育園開園（さくら保育園）



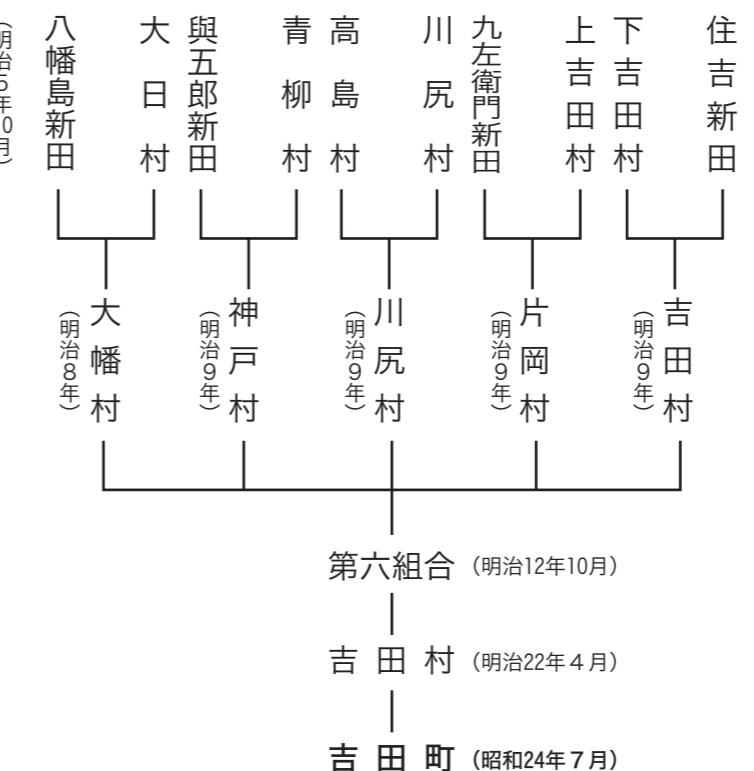
▲昭和33年全長980mの木造橋、太平橋が架橋



◀昭和34年の片岡辻交差点

年	月	事件
昭和36年	4月	神戸・大幡両区を合併し、北区に改称
昭和35年	3月	太平橋架橋（全長980m）
昭和34年	10月	第8回国勢調査 人口18,066人
昭和33年	11月	町立わかば保育園が開園 定員60人
昭和30年	3月	吉田町電報電話局が開設
昭和29年	3月	役場庁舎完成（木造2階建）
昭和28年	4月	さくら保育園開園 定員100人
昭和27年	10月	町制施行、吉田村を吉田町に改称 戸数3,044戸 人口17,559人
昭和25年	7月	第7回国勢調査 人口17,962人
昭和24年		八幡島新田（明治5年10月）
		大日村（明治5年10月）
		與五郎新田（明治9年）
		高島村（明治9年）
		川尻村（明治9年）
		上吉田村（明治9年）
		吉田村（明治9年）
		吉田町（昭和24年7月）
		第六組合（明治12年10月）
		吉田村（明治22年4月）
		吉田町（昭和24年7月）

吉田町の移り変わり（明治以降）



吉田町の地名の由来

「吉田」という地名が生まれたのは、室町初期と伝えられています。その当時の吉田町は一面に葦が生い茂っていたらしく、入植して開拓を始めた人々は、ここを「葦田」と名前を付けました。しかし、入植して開拓を始めた人々は、ここを「葦田」と呼び替え、願望を込めて佳名好名の「吉田」と決めたのではないかと言われています。

(出典：ふるさと探訪)



葦が生い茂る風景

6月	昭和63年	9月	昭和62年	12月	昭和60年	4月	昭和59年	11月	昭和57年	10月	昭和56年	4月	昭和55年	10月	昭和49年	4月	昭和47年	
太平橋架替工事完成		展望台小山城完成		学習ホール完成		保健センター・住吉会館完成		勤労者体育センター完成		総合体育館完成		同報無線町内35力所完成開局		第13回国勢調査 人口21,474人		第12回国勢調査 人口20,525人		地籍調査開始
第14回国勢調査 人口23,143人		第2次吉田町総合計画策定															静岡県立吉田高校開校	
6月	昭和63年	9月	昭和62年	12月	昭和60年	4月	昭和59年	11月	昭和57年	10月	昭和56年	4月	昭和55年	10月	昭和49年	4月	昭和47年	

今回は、昭和24年の町制施行から目まぐるしく変化を遂げた昭和時代の写真を紹介しました。懐かしく思う人、初めて知る人々などさまざまな思いがあつたのではないかでしょう。和時代の人たちが町の発展のために汗を流してきました。そして、多くの人たちの思いが詰まったこの吉田町を、わたしたちは受け継ぎ、後世まで語り継がれる新しい歴史をつくっています。



▲昭和59年第1回町伝大会が開催
当時は町内を1周するコースだった
(写真:昭和60年ハイナン農協吉田支店前)



▲昭和44年営業開始した当時の東名吉田インターチェンジ



▲昭和62年展望台小山城の完成を祝う「小山城まつり」当日2万個の餅が投げられた



▲昭和47年吉田高校開校入学式

お 知 ら せ

吉田町町制施行60周年記念式典を延期します

広報よしだ4月号において、町制施行60周年記念式典を7月5日に挙行する旨をお知らせしましたが、5月16日、神戸市で新型インフルエンザの感染者が確認され、5月26日には静岡市内においても感染者が確認されるなど、感染が拡大しております。この状況を踏まえ、町民の皆さまの安全を第一に考え、記念式典を7月5日から、10月4日に延期することとし、併せて記念式典の第2部として予定していた記念演奏についても10月18日に延期することとしましたのでお知らせいたします。

●記念式典（招待者対象）

場所 総合体育館

日時 10月4日(日)

13:30~15:00

●記念コンサート（一般対象）

場所 吉田中学校体育館

日時 10月18日(日)

13:30~15:00

※詳細については内容が決まり次第、随時お知らせしていく

ます。

問合せ先

企画課

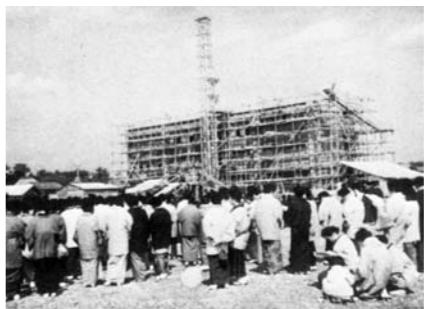
企画調整部門

■33-12135

10月	昭和40年	11月	昭和41年	12月	昭和39年	4月	昭和37年
第10回国勢調査 人口18,486人		学校給食センター完成、給食事業開始		吉田中学校校舎完成		南北両中学校を統合し、吉田町立吉田中学校を設置	
東名高速道路着工							



▲駿遠線上吉田駅前に停車する電車
昭和43年、新藤枝一大井川を残し53年間の幕が閉じた



▲昭和37年吉田中学校建設中の校舎の前で第1回目入学式が行われた



▲生産量日本一を誇っていた養鰻最盛期の風景
(昭和44年町勢要覧より)



▲昭和30年から始まったレタス栽培
写真は昭和38年



▲昭和37年最後となった
①吉田北中学校と②吉田南中学校の校舎



田中 晴夫さん
(神戸)

～昭和の思い出～
——吉田公園にいた田中さんにお話を聞きました。

「今ここは、きれいに整備された立派な公園ですが、今から50年くらい前、このあたりは、一面に葦が生い茂っていました。私は、よくここで遊んでいました。そのほか、大井川で釣りをしたり、川尻小学校時代、水泳場といつても川でしたが、保護者たちに見守ながらよく泳ぎました。遊ぶ場所は、少なくいつも決まった場所で遊んでいましたがすべてが楽しい思い出です。」



練習の成果を十分に発揮した技能テスト

5月15日に、県交通安全協会牧之原地区支部主催による「第40回交通安全子供自転車牧之原地区大会」が、牧之原市B&G相良海洋センターで開催され、吉田町からは、住吉小学校2チーム、牧之原市からは、4チームが参加しました。これは、児童の交通事故を防ぐために、大会を通じて交通に対する興味と関心を高めることを目的に毎年開催されています。

また、個人戦では、学科・実技ともに優秀な成績をおさめた服部明日翔さん（住吉小6年）が第1位、松林蘭さん（住吉小6年）が第2位に輝きました。なお、住吉小学校チームは、7月4日に静岡市で開催される静岡県大会へ牧之原地区代表として出場します。



見事優勝を決めた住吉小の児童たち

町内一斉河川清掃を実施



町内4自治会主催による町内一斉河川清掃が、5月10日町内各地で行われ、地域の皆さん総出で作業に取り組みました。この作業は、住み良い環境作りを目指すと、毎年この時期に行われています。当日は、天候にも恵まれ、

朝早くから鎌やスコップなどを手に、隣組ごと割り当てられた河川や排水路、道路側溝内の清掃を約1時間行いました。

河川などから泥や雑草がきれいに取り除かれ、作業を終えた皆さんの表情は、晴れ晴れとしていました。



力いっぱいに走る児童たち

見事！住吉小チーム優勝

交通安全子供自転車 牧之原地区大会を開催

協力し合って楽しい運動会

自彊小学校が運動会を開催

自彊小学校（浅井啓言校長）の運動会が5月30日に開催されました。同校は、より良い学級づくりのために、この時期が良いと考え、毎年5月に開催されています。当日は、雨の心配もありませんでしたが、無事運動会を迎えることができ、今年のスローガンである「協力し勝利にむかってつきすすめ」を合言葉に、全校児童349人が、2チームに分かれ、徒競走や団体競技など、日ごろの練習の成果を力いっぱいに発揮していました。

また、全校児童が一同に吉田町オリジナルダンス「ヤーレコのSAY！」を披露し、仁保護者や地域の皆さんを楽しませていました。

最後に、すべての競技を集計した結果、昨年に続き白組が勝利し、白組代表の児童に優勝杯が手渡されました。



見事優勝を決めた住吉小の児童たち

見事！住吉小チーム優勝

交通安全子供自転車 牧之原地区大会を開催

協力し合って楽しい運動会

自彊小学校が運動会を開催

自彊小学校（浅井啓言校長）の運動会が5月30日に開催されました。同校は、より良い学級づくりのために、この時期が良いと考え、毎年5月に開催されています。当日は、雨の心配もありましたが、無事運動会を迎えることができ、今年のスローガンである「協力し勝利にむかってつきすすめ」を合言葉に、全校児童349人が、2チームに分かれ、徒競走や団体競技など、日ごろの練習の成果を力いっぱいに発揮していました。

また、全校児童が一同に吉田町オリジナルダンス「ヤーレコのSAY！」を披露し、仁保護者や地域の皆さんを楽しませていました。

最後に、すべての競技を集計した結果、昨年に続き白組が勝利し、白組代表の児童に優勝杯が手渡されました。



見事優勝を決めた住吉小の児童たち



MACHI NO WADAI

吉田中学校2年生が職業体験学習



自分たちで詰めたシラス干しの箱に出荷準備のシールを貼る生徒たち（久保田水産）

さくら保育園では、男女6人の生徒が園児とふれあいながら保育士の仕事を体験しました。将来保育士なりたいと思っている紅林綾さんは、「園児がかわいくて楽しいです。保育士になりたい気持ちが強くなりました。」と話しています。

これは、職場での活動を通して、仕事をやり遂げる喜びや、働くことの大切さ、厳しさを学ぶことを目的に行われたものです。

吉田中学校（西川公男校長）の2年生294人が、5月25日から27日までの3日間、町内や牧之原市などの商店や製造業、医療・福祉施設、公共施設など91の事業所で職業体験学習を行いました。

吉田中学校2年生が職業体験学習

働くことの厳しさを実感

地方自治の発展に貢献



園児と一緒に遊ぶ生徒たち（さくら保育園）

増田勇氏が瑞宝双光章を受章された増田勇氏（左）と奥さんの初恵さん（右）

受章された増田勇氏（左）と奥さんの初恵さん（右）

平成21年春の叙勲・褒章が発表され、吉田町からは、住吉在住の増田勇氏（85歳）が瑞宝双光章を受章しました。

それに伴い4月30日、静岡県庁において受章者への伝達式が行われ、石川県知事から勲章が伝達されました。



石川知事から瑞宝双光章を伝達される増田氏

増田氏は、「今回の受章は、本当に光栄でうれしく思っています。」と話していました。



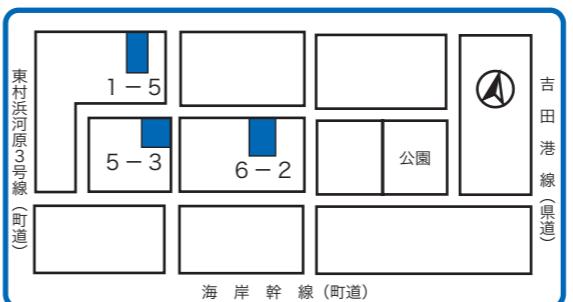
受章された増田勇氏（左）と奥さんの初恵さん（右）

宅地分譲をしています

住吉富士見土地区画整理組合では、
区画整理事業によつて造成された
土地「3区画」を販売します。

申込み・問合せ先
吉田町住吉富士見土地区画整理組
合事務局（都市建設課 土地区画
整理部門内）**■33-2138**

分譲地の価格				
街区番号	面積		価格 (円)	坪単価 (円)
	m ²	坪		
1-5	175.10	52.96	4,760,000	90,000
5-3	220.48	66.69	6,000,000	90,000
6-2	185.31	56.05	5,040,000	90,000



津波避難訓練を実施します

”地震だ 津波だ すぐ避難“ 津波対策推進旬間
(7月1日～10日)

災害ボランティアコーディネーター 養成講座のお知らせ

実施日	7月4日(土)
場所	吉田海岸一帯と吉田漁港周辺
対象者	付近住民および海浜利用者
重点項目	<ul style="list-style-type: none"> ・災害対策本部設置訓練 ・津波監視・警戒訓練 ・津波堤門扉・水門閉鎖訓練 ・避難誘導訓練 ・地震発生 9:00
訓練想定	静岡県全域で強い地震の揺れ
□訓練終了	10:00
（第4回）	はーとぴあ清水（静岡市）
10月17日(土)・24日(土)・25日(日)	申込締切 1次募集 7月25日(土)まで
（第5回）	三島市社会福祉会館
10月31日(土)・11月8日(日)	受講料 無料 2次募集 10月1日(木)まで
三島市消防庁舎3階	※1次募集で定員に達しない場合、静岡市以降の会場について、2次募集を行います。
消防センターサー	申込方法 所定の申込書による。
（第6回）	問合せ先 浜松市福祉交流センター 12月5日(土)・12日(土)・13日(日)
静岡県ボランティア協会 054-255-7357	※申込者多数の場合は、締切があります。 9月26日(土) 焼津市総合福祉会館 「ウェルシップやいづ」 10月3日(土)・4日(日)

公文書の開示状況をお知らせします

町では、町民参加による一層開かれた町政を実現させるため、「町民の知る権利」として、町民の皆さんのが町の保有する公文書の開示を請求する権利を保障した公文書開示制度を運用し、情報公開の充実を図っています。

的町政の実現および町民の権利利益を保護するため、「個人情報の開示、訂正、中止および削除する権利」として、町民の皆さんに、町の保有する自己情報に係る公文書の開示などを請求する権利を保障した自己情報開示制度を運用し、個人情報の適正な運用についても充実を図っています。今回は、平成20年度中に吉田町情報公開条例に基づいて請求のあつた公文書の開示状況をお知らせします。

なお、平成20年度中における吉田町個人情報保護条例に基づいての請求はありませんでした。

問合せ先 総務課 33-12132 行政部門	文書開示請求内容および処理状況		
	請求年月日	決定内容	所管課
1	平成20年6月10日 (内容)	開示 議会事務局	
2	平成20年7月3日 (内容)	一部開示 総務課他6課	
3	平成20年12月5日 (内容)	開示 議会事務局	
	平成20年12月5日議会運営委員会会議録		

区分		公文書	自己情報
開示請求延人数		3人	0人
実人數		3人	0人
請求者 区分	町内居住者	2人	△
	町外居住者(任意)	1人	
開示請求件数		3件	0件
開示・ 開示	全部開示	2件	0件
	一部開示	1件	0件
決定 数	非開示	0件	0件
	不存在	0件	0件
不服申立て件数		0件	0件

保健協力委員の皆さんを ご紹介します

(敬称略)

保健協力委員は、各自治会長からの推薦を受けて、町長が委嘱しており、任期は2年間です。保健協力委員として、自分自身の健康や家族の健康について振り返り、活動を通して学習したことや体験したことを地域住民に向けて発信していく役割を担っています。

本年度は『メタボリックシンドロームに関すること』についての学習を深めていきます。具体的な活動内容は、健康づくりを始め、地域で健康づくりに関する自主活動を行います。



問合せ先
健康づくり課
32-7000
※岸端しづ子(住吉大浜)

つくれみませんか? 学校給食メニュー

Vol.39

- ・シラスと枝豆のごはん
- ・かぼちゃサラダ



6月は、『食育月間』です。特に、19日は『食育の日』になります。学校給食でも、15日～19日を「ふるさと給食週間」として、地域の産物を多く使った料理を多く取り入れています。

今月は、町の特産物“シラス”を使ったごはんと、夏においしい“かぼちゃ”を使ったサラダをご紹介します。

作り方

①米はとぎ、普通の水加減をする。火をつける直前に、酒、塩を加え、全体を混ぜ、上にシラス干しをのせ、炊く。

②枝豆は、塩ゆでしてさやから出しておく。

③炊き上がったごはんをほぐし、②の枝豆を混ぜ、白いゴマをふる。

④ボウルにカボチャ、キュウリ、枝豆を入れ、混ぜる。マヨネーズであえ、塩、こしょうで味を整える。



● 保健・だより

子どもの『は、は、は』の歯



● はえ始めの時期や順番は?

乳歯は母親が妊娠7週ころから形成が始まり、およそ生後6～8ヶ月ではえ始めます。3歳になるころまでには20本すべてはえそろいますが、乳歯のはえ始める時期やはえる順序に目安はあるものの、みんなが同じというわけではありません。個人差があるので、違つたとしても、心配はいりません。

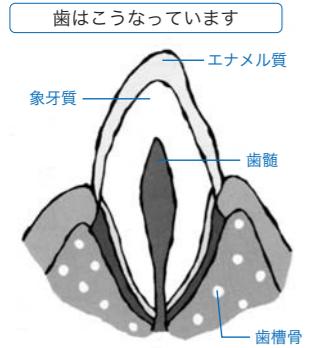
● 乳歯の特徴

やわらかいので、むし歯菌が作りだす酸に溶けやすく、むし歯になりやすい特性があ

● 乳歯は永久歯のナビゲーター

永久歯は母親が妊娠5ヶ月ころから、乳歯の下で育ち始めます。乳歯にむし歯があるまでは、特にむし歯が歯根において炎症を起こすと、その下で準備をしている永久歯の成長に悪影響が出ます。乳歯はいずれぬけるものだからと安易に考えず大切にしましょう。

ります。エナメル質や象牙質の層も薄いため、いつたんむし歯になつて歯が溶け始めると進行が早いのが特徴です。

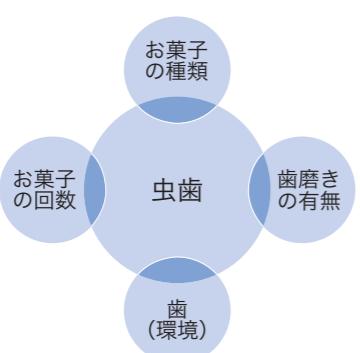


虫歯予防のポイント

- ・だらだら食いは禁物
- ・おやつの種類に注意
- ・歯みがき

は選んでみてはいかがでしょうか。日ごろのおやつ

● フッ素でむし歯予防



は避け、歯に糖分がつきにくく、果物やゼリーなどをおやつに選んでみてはいかがでしょうか。日ごろのおやつ

は甘く歯につきやすいおやつ

に付着した食べか

きなどに水分補給の一つとして利用することは大事ですが、普段から無制限に飲むことは

歯にとってもよくありません。

健康づくり課

は避け、歯に糖分がつきにくく、酸に溶けにく

い歯になります。定期的に直

接歯に塗ることや薄めたフッ素液でうがいをすることで、むし歯を積極的に予防することができます。

なお、特別徴収が不可能となつた場合は、普通徴収に変更となりますのでご注意ください。

公的年金からの特別徴収が始まります

公的年金の所得によって課税

が発生する方については、町・県民税が公的年金から天引きされ

ます。※5月発行の広報よしだ

平成20年中の所得金額をもとに計算されます。

所得割額は、次の方法で計算

されます。税率は、一律10%（県民税4%、町民税6%）です。

なお、前年所得が基準になり

ますので、平成21年度の税額は

計算されます。

所得割額

400円加算されています。

り県民税」が県民税均等割に

通徴收の方には、6月中旬に納

付書が郵送されますので、納期

内納付にご協力をお願いします。

町・県民税のしくみ

町・県民税が課税される方で普

通徴收の方には、6月中旬に納

付書が郵送されますので、納期

内納付にご協力をお願いします。

町に住所があった方

※平成21年の途中で転出などさ

れた場合でも吉田町で課税さ

れます。

課税されない方

・生活保護法によつて生活扶助

を受けている方。

・障害者や未成年者、寡婦また

は寡夫のうち前年の所得金額

が125万円以下（給与収入204万

円未満）であった方。

※静岡県では、平成18年度～平

成22年度の5年間、「森林づく

均等割額

均等割額は、県民税1,400

円、町民税（吉田町）3,000

円と定められています。

※静岡県では、平成18年度～平

成22年度の5年間、「森林づく

均等割額

均等割額と所得

割額の合計で

算出されます。

税額の計算方法

・町・県民税は均

等割額と所得

割額の合計で

算出されます。

均等割額

均等割額は、県民税1,400

円、町民税（吉田町）3,000

円と定められています。

※静岡県では、平成18年度～平

成22年度の5年間、「森林づく



吉田町長賞を受賞した益田さん



益田さん宅前の道路沿いに咲く花壇

きれいな花壇に魅了

花いっぱいコンクールを開催

吉田町花の会主催 第4回

花いっぱいコンクールの表彰式が4月26日

に行われました。

このコンクールは、花壇、プランターのデザイン性や育成状況、管理状況などを審査し、今回は、町内から20人の皆さんから応募がありました。

吉田町長賞を受賞した益田満智子さんは、「コンクールに参加すると決めてからは、手入れが大変でしたが、今はうれしい気持ちです。家の前では、さまざまな花が一年中咲いています。散歩をしている方たちなどお花を見て一日の疲れを癒やすれども「うれしいです」と話す、益田さん宅前の道沿いには、ロベリーやパンジーなどがきれいに咲いていました。優秀賞までに入賞され

た方は次のとおりです。
(敬称略)

吉田町長賞

益田 満智子(神戸)

ハイナン農協組合長賞

鈴木 末雄(新田町内会)

吉田町花の会会長賞

中村 紀子(神戸)

特別賞

横田川ちづ子(神戸)

優秀賞

俵 良雄(住吉)

鈴木 房子(住吉)

西條 千里(川尻)

原科 悅子(片岡)

徳山 英子(片岡)

庄司 恵一(片岡)



新田町内会の花壇

力作がずらり住吉帆

帆づくりコンテストを開催

吉田町観光協会主催

「帆づくりコンテスト」

審査会が5月15日に行われました。

入賞された方は次のとおりです。(敬称略)

大会会長賞

①一般12枚以下の部

②一般5枚以下の部

③子ども5枚以下の部

④一般5枚以下の部

⑤子ども5枚以下の部

⑥子ども5枚以下の部

⑦子ども5枚以下の部

⑧子ども5枚以下の部

⑨子ども5枚以下の部

⑩子ども5枚以下の部

⑪子ども5枚以下の部

⑫子ども5枚以下の部

⑬子ども5枚以下の部



▲東浜町内会さんの作品



▼松浦清夫さんの作品

あなたの税金が町をつくります!
6月の納税

町県民税 第1期

6月30日(火)までに
納めてください

国民健康保険税の第1期は
7月になります

納税は、口座振替が便利です!
問合せ先 税務課 収納管理部門

■33-2109

北	片	川	尻	吉	住	吉	二	人
曾	高	杉	田	佐	勝	福	武	人
根	木	木	田	藤	山	世	泰	二
作	橋	は	だ	井	や	世	代	人
次	は	さ	た	い	ま	よ	だ	人
郎	じ	す	た	本	か	く	た	人
	ろ	ぎ	な	と	わ	く	け	人
	う	す	か	と	よ	よ	う	人
	う	ぎ	た	う	う	よ	う	人
	う	は	だ	う	う	よ	う	人
	う	さ	た	う	う	よ	う	人
	う	き	た	う	う	よ	う	人
	う	は	た	う	う	よ	う	人
	う	さ	た	う	う	よ	う	人
	う	き	た	う	う	よ	う	人
	う	は	た	う	う	よ	う	人
	う	さ	た	う	う	よ	う	人
	う	き	た	う	う	よ	う	人
	う	は	た	う	う	よ	う	人
	う	さ	た	う	う	よ	う	人
	う	き	た	う	う	よ	う	人
	う	は	た	う	う	よ	う	人
	う	さ	た	う	う	よ	う	人
	う	き	た	う	う	よ	う	人
	う	は	た	う	う	よ	う	人
	う	さ	た	う	う	よ	う	人
	う	き	た	う	う	よ	う	人
	う	は	た	う	う	よ	う	人
	う	さ	た	う	う	よ	う	人
	う	き	た	う	う	よ	う	人
	う	は	た	う	う	よ	う	人
	う	さ	た	う	う	よ	う	人
	う	き	た	う	う	よ	う	人
	う	は	た	う	う	よ	う	人
	う	さ	た	う	う	よ	う	人
	う	き	た	う	う	よ	う	人
	う	は	た	う	う	よ	う	人
	う	さ	た	う	う	よ	う	人
	う	き	た	う	う	よ	う	人
	う	は	た	う	う	よ	う	人
	う	さ	た	う	う	よ	う	人
	う	き	た	う	う	よ	う	人
	う	は	た	う	う	よ	う	人
	う	さ	た	う	う	よ	う	人
	う	き	た	う	う	よ	う	人
	う	は	た	う	う	よ	う	人
	う	さ	た	う	う	よ	う	人
	う	き	た	う	う	よ	う	人
	う	は	た	う	う	よ	う	人
	う	さ	た	う	う	よ	う	人
	う	き	た	う	う	よ	う	人
	う	は	た	う	う	よ	う	人
	う	さ	た	う	う	よ	う	人
	う	き	た	う	う	よ	う	人
	う	は	た	う	う	よ	う	人
	う	さ	た	う	う	よ	う	人
	う	き	た	う	う	よ	う	人
	う	は	た	う	う	よ	う	人
	う	さ	た	う	う	よ	う	人
	う	き	た	う	う	よ	う	人
	う	は	た	う	う	よ	う	人
	う	さ	た	う	う	よ	う	人
	う	き	た	う	う	よ	う	人
	う	は	た	う	う	よ	う	人
	う	さ	た	う	う	よ	う	人
	う	き	た	う	う	よ	う	人
	う	は	た	う	う	よ	う	人
	う	さ	た	う	う	よ	う	人
	う	き	た	う	う	よ	う	人
	う	は	た	う	う	よ	う	人
	う	さ	た	う	う	よ	う	人
	う	き	た	う	う	よ	う	人
	う	は	た	う	う	よ	う	人
	う	さ	た	う	う	よ	う	人
	う	き	た	う	う	よ	う	人
	う	は	た	う	う	よ	う	人
	う	さ	た	う	う	よ	う	人
	う	き	た	う	う	よ	う	人
	う	は	た	う	う	よ	う	人
	う	さ	た	う	う	よ	う	人
	う	き	た	う	う	よ	う	人
	う	は	た	う	う	よ	う	人
	う	さ	た	う	う	よ	う	人
	う	き	た	う	う	よ	う	人
	う	は	た	う	う	よ	う	人
	う	さ	た	う	う	よ	う	人
	う	き	た	う	う	よ	う	人
	う	は	た	う	う	よ	う	人
	う	さ	た	う	う	よ	う	人
	う	き	た	う	う	よ	う	人
	う	は	た	う	う	よ	う	人
	う	さ	た	う	う	よ	う	人
	う	き	た	う	う	よ	う	人
	う	は	た	う	う	よ	う	人
	う	さ	た	う	う	よ	う	人
	う	き	た	う	う	よ	う	人
	う	は	た	う	う	よ	う	人
	う	さ	た	う	う	よ	う	人
	う	き	た	う	う	よ	う	人
	う	は	た	う	う	よ	う	人
	う	さ	た	う	う	よ	う	人
	う	き	た	う	う	よ	う	人
	う	は	た	う	う	よ	う	人
	う	さ	た	う	う	よ	う	人
	う	き	た	う	う	よ	う	人
	う	は	た	う	う	よ	う	人
	う	さ	た	う	う	よ	う	人
	う	き	た	う	う	よ	う	人
	う	は	た	う	う	よ	う	人
	う	さ	た	う	う	よ	う	人
	う	き	た	う	う	よ	う	人
	う	は	た	う	う	よ	う	人
	う	さ	た	う	う	よ	う	人
	う	き	た	う	う	よ	う	人
	う	は	た	う	う	よ	う	人
	う	さ	た	う	う	よ	う	人
	う	き	た	う	う	よ	う	人
	う	は	た	う	う	よ	う	人
	う	さ	た	う	う	よ	う	人
	う	き	た	う	う	よ	う	人
	う	は	た	う	う	よ	う	人
	う	さ	た	う	う	よ	う	人
	う	き	た	う	う	よ	う	人
	う	は	た	う	う	よ	う	人
	う	さ	た	う	う	よ	う	人
	う	き	た	う	う	よ	う	人
	う	は	た	う	う	よ	う	人
	う	さ	た	う	う	よ	う	人
	う	き	た	う	う	よ	う	人
	う	は	た	う	う	よ	う	人
	う	さ	た	う	う	よ	う	人
	う	き	た	う	う	よ	う	人
	う	は	た	う	う	よ	う	人
	う	さ	た	う	う	よ	う	人
	う	き	た	う	う	よ	う	人
	う	は	た	う	う	よ	う	人
	う	さ	た	う	う	よ	う	人
	う	き	た	う	う	よ	う	人
	う	は	た	う	う	よ	う	人
	う	さ	た	う	う	よ	う	人